

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	産業振興課長 五十嵐 豊	
		主管課(関係課)【2】	産業振興課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
活1-1	産業の振興	まちの産業が活力を発揮し活躍するために	活力と魅力あるまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	日本の産業において農業の占める比率は年々減少する傾向にあり、商店街機能の低下も共通してみられる現象です。今後、農業においては、持続可能な農業経営の環境を整えるとともに、めぐみちゃんメニュー事業の推進や農地の多面的な機能の活用、農家と市民との交流促進など地域に密着した農業の振興に取り組むことが必要です。商工業については、個々の商工業者の経営の維持・発展につながるよう経営診断や相談機能の充実を図るほか、イベントなどの開催や、空き店舗の活用などを通して商店街の振興のために、市民、事業者、商工会などとの連携をより一層進めていく必要があります。また、市内の中小企業に対しては、引き続き支援を行うとともに、市民、事業者、行政の連携により地域雇用を促進することも必要です。		◆農を通じた農業者と市民の相互理解 ◆市内産農産物の付加価値の向上 ◆農商工が連携した地域経済の展開 ◆関係機関との連携による商工業の振興	市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成27年4月の都市農業振興基本法の制定、平成28年5月の都市農業振興基本計画の閣議決定、平成29年5月の東京都農業振興プランの策定を受け、都市農業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する重要性が増しています。また、平成29年6月の生産緑地法等の改正に伴い、都市農地の保全・活用に関する見直しも予定されています。 ◇国が進める地方創生の取組みの中では、「稼ぐ力を引き出し、活力に溢れた地域経済の構築」を進めることが掲げられているところであり、中小企業や商店の経営上の課題等に対して、効果的、かつ、実効的な振興策が必要とされています。 ◇「健康」応援都市の実現、とりわけ、まちの活力を高める上では、産業振興は重要な課題の一つです。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	農業経営を促進し、都市農業の魅力向上に努めます	市内産農産物の普及啓発と消費促進	
	2	農にふれる機会を提供し、農地の保全に取り組めます	農を通じた農業者と市民の相互理解の促進	
	3	多様な商工業の振興を進めます	産学公金連携による商工業の振興	
	4	地域労働環境の向上に努めます	関係機関との連携による就労支援	

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29
成果指標【12】	指標1	名称	「産業の振興」の取組に対する満足度	目標値	16%			単位	%	
		算出式・説明	市内の産業を活性化するために、市が行っている「産業の振興」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	13.4	13.4	13.4	15.3	15.3	20.9
		達成率		84%	84%	84%	96%	96%	131%	
	指標2	名称	市内における農業産出額(農家1戸あたり平均)	目標値	4,033千円			単位	千円	
		算出式・説明	農業経営の促進や都市農業の魅力向上の取組の効果をj知るうえで、農業産出額の把握は重要です。市内における農家1戸当たりの平均農業産出額を増やすことを目標とします。	実績値	3841	3841	3841	3841	3841	
		達成率		95%	95%	95%	95%	95%	0%	
	指標3	名称	市内の企業等との連携による取組数	目標値	2件			単位	件	
		算出式・説明	多様な商工業の振興を図る上で企業等との連携による取組は重要です。このため、市内の企業等との連携による年間の取組数(連携した事業数)を目標とします。	実績値	2	1	1	1	2	
		達成率		100%	50%	50%	50%	100%	0%	
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値					93%	76%	76%	80%	97%	44%

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	13.4%	満足度(%)	15.3%	満足度(%)	20.9%
満足度(平均ポイント)	-0.21	満足度(平均ポイント)	-0.13	満足度(平均ポイント)	-0.03
重要度(%)	66.3%	重要度(%)	65.5%	重要度(%)	68.3%
重要度(平均ポイント)	0.9	重要度(平均ポイント)	0.89	重要度(平均ポイント)	0.98

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成	□ ほぼ達成	□ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	□ 平均を下回る	■ ほぼ平均	□ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている	□ 以前と同程度	■ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	■ 平均を下回る	□ ほぼ平均	□ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	◇農業振興については、農業者において持続可能な農業経営を可能とする支援策を進めてきましたが、都市農業の重要性が高まる中、都市と農業が共生するまちづくり事業などにより、市民、地域及び行政が一体となって市内農業を支える取組が重要です。◇商工業振興については、地域の資源・技術を活かしたブランド化や、異なる業種及び主体による分野横断的な連携及び活性化を図ってきました。今後は、さらなる地域経済の活性化を図るために、産学公金連携を積極的に行うとともに、庁内連携も促進させ、新たな相乗効果を生み出していくことが必要です。◇労働関係については、国及び東京都と連携し、各種セミナーを実施するなど、就労の機会提供に係る取組を進めてきました。今後も、景気動向に注視し、求職者の態様が多様化する中、対象者の世代等に合わせた支援策の充実等が必要です。				
検証項目	今後の方針	◇農業経営の促進及び農地保全については、第2次西東京市農業振興計画に基づき、引き続き都市と農業が共生するまちづくり事業等により、市民の農業・農地の多面的機能への理解を深める取組を進めるとともに、「めぐみちゃんメニュー事業」等による地産地消の推進、援農ボランティアの育成・活用による担い手の確保、効果的な支援の検討により、持続可能な農業経営に経営に向けた環境整備を進めます。◇多様な商工業の振興については、一店逸品事業によるブランド戦略、商店街振興によるまちのにぎわいづくり、産業振興戦略会議による効果的な事業の検討などを進めてまいります。また、効果的な融資あっせん制度の検討、空き店舗活用の支援などにより、市内事業者にとって、より実効性のある支援策を進めます。◇地域労働環境の向上については、引き続き、ハローワークや東京しごとセンターとの連携を進め、雇用環境の変化を的確に捉えながら、各種就労支援事業の充実を図っていきます。また、保育サービスの提供等、相談環境の整備も合わせて行っていきます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充	■ 現状維持	□ 絞込み		
		□ 重点化	■ 現状維持	□ 効率化		
		V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			
【一次評価後の事情変更等】						
説明【23】						
【行革本部評価】						
総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	□ 拡充	■ 現状維持	□ 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化	■ 現状維持	□ 効率化	
		産業の振興については、産業振興マスタープラン、農業振興計画などに基づいた様々な取組を進めています。市民意識調査結果では、前回調査と比べ、満足度・重要度ともに大きな変化は見られません。引き続き「健康」応援都市の実現に向けて、まちの活力を伸ばし、まち全体の健康を高める視点に立って取り組む必要があります。農業振興では、市民の農業・農地の多面的機能への理解を深める取組、商工業の振興では、一店逸品事業によるブランド戦略、産業振興戦略会議による効果的な事業の検討、労働環境の向上では、ハローワークや東京しごとセンターとの連携を進め、各種就労支援事業の充実を図っていくべきと判断しました。				
施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域				

【施策内の事務事業貢献度判定】

活1-1 産業の振興

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	援農ボランティアの活用	産業振興課	農のアカデミー体験実習農園でのボランティアを求める農業者と援農ボランティアのマッチング、指導農家の指導の下での援農ボランティアのスキルアップなどを継続して行っています。
2	都市と農業が共生するまちづくり事業の実施	産業振興課	本市独自の施設及びイベント事業等を活用し、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、持続可能な農業経営及び農地の保全を図る事業を展開します。
	地産地消の推進	産業振興課	「めぐみちゃんメニュー事業」を通じて、市内農産物を活用した商品開発に加え、駅前等におけるマルシェを開催することにより、地産地消を推進するとともに、農商工連携を図り、市内農産物の販路拡大を目指していきます。
3	商店街活性化推進事業の充実	産業振興課	商店街活性化推進事業を通じ、商店街が実施する地域連携型イベント、企画提案型イベント及び活性化事業を支援し、商店街の自発性を促進していきます。また、商店街の所有する街路灯のLED化に対する支援も行い、消費者が来訪する環境整備も進めます。
	一店逸品事業の推進	産業振興課	一店逸品事業の取組みにより、本市における地域ブランドを内外にアピールし、新たな地域資源とするとともに、ふるさと納税の返礼品としての活用等を通じて、地域経済及び市内産業の活性化を図っていきます。
	中小企業資金融資あっせん事業の実施	産業振興課	市内中小企業者に対し、事業経営に必要な資金について、金融機関に融資をあっせんし、当該融資について利子補給等の助成を行うことにより、市内中小企業者の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経営の安定を図り、もって中小企業者の振興を進めていきます。また、起業・創業を目指す方への支援も充実させていきます。
4	ハローワーク等と連携した就労情報の提供	産業振興課	ハローワーク及び東京しごとセンターとの連携により、各種セミナーや面接会などを開催し、就労を支援していきます。また、ポケット労働法の作成・配布などにより、労働法に関する知識の普及啓発に努めていきます。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
12,969	8,814	4,155			B
3,826	502	3,324	抜本的見直し(平成23年度)	中	B
13,705	4,821	8,884			B
10,426	4,610	5,816	継続実施(平成28年度)	上	A
55,653	49,837	5,816			B
11,271	5,455	5,816	改善・見直し(平成26年度)	上	A
46,494	39,847	6,647	改善・見直し(平成23年度)	上	B
2,660	167	2,493			B
157,004	114,053	42,951			